

令和元年 7 月 1 7 日 基本目標①WG議事要旨

1 WG参加者

野原副会長、服部委員、西村委員、白土委員、押田委員、小林委員、星加委員

2 課題整理

(1) 全体的な課題

児童館の位置づけを格上げしていくことが必要ではないか。児童館に求められる機能が変わってきている中で、児童館本来の機能を果たしていくことも必要である。児童館を核として、子育ての拠点にしていかなければならないと思う。

また、子どもを地域で育てるというイメージが薄くなってきている。学校や施設内で子どもを囲い込んでいるようで、安心だけれども、それでは子どもが育たなくなってしまう。

(2) 個別課題

①課題 放課後の子どもの居場所の拡充

現状 児童館の配置は地域ごとに偏りがある。放課後子ども教室は、全ての学校で実施されているわけではなく、また、活動が充実しているところとそうでないところという不公平感も生じている。財源についても、保育と比較すると乏しすぎるという問題を感じる。待機学童についても、これからますます大きな問題になっていくと思う。

提案

- ・児童館、学童クラブ、放課後子ども教室が連携することで、全体の底上げをしていく必要がある。時間を分けて遅い時間だけ学童で受け入れるという対応はどうか。
- ・すべての学校で放課後子ども教室を実施していくべきではないか。
- ・児童館同士の機関連携を広げていってみたいはどうか。
- ・学童クラブの質の向上についても計画に盛り込むべき。
- ・すでに本来の役割を終えた任意団体から予算を受け継ぎ、その任意団体の組織を活用して放課後スクールの運営を委ねる方法もあるのではないか。

②課題 行政と民間事業者の協働

現状 墨田区の児童館は指定管理制度により民間委託されているが、レベルの高い事業者を選定できていると思うし、児童館の機能の向上という意味でも成功していると感じる。ただ、民間委託については行政と民間事業者の関係が上下関係のようになることが懸念される。

また、地域活動の拠点として児童館が存在し、子どもの育ちを見守っていくことを考えると、現在の指定管理期間は短すぎると思う。

提案

- ・行政と民間事業者の関係性をパートナーシップとして整理し、サービスの質の低下に関しては行政に厳しく指摘してもらいたい、民間事業者の弱い部分は行政が積極的にサポートをしていくべき。
- ・サービスの質が一定のレベルを保てていれば、指定管理期間を10年くらいにすることはできないか。

③課題 児童館の整備・改修

現状 全体的に老朽化が進んでいる。また、不審者情報が寄せられたとき、児童館には防犯カメラが整備されておらず、確認できなかった事例が発生した。

提案

- ・児童館の改修について計画に明確に位置付けるのが良いのではないか。
- ・セキュリティの面から防犯カメラを設置するのも良いのでは。

④課題 児童館と幼保小中との情報連携

現状 幼保小中の情報連携は強化されてきているが、児童館には十分な情報が伝わってきていない。児童館は福祉施設として位置づけが他と少し違うためか、情報共有が十分でないと感じる。とは思うが、共有すべき情報は多いと思うので、しくみづくり、機会づくりが重要だと感じる。

提案

- ・幼保小中の連携の中に児童館も入れて、情報共有できるしくみづくり、機会づくりをしていくことが大事ではないか。

⑤課題 児童館の情報発信力の向上

現状 児童館は非常に多くのことに取り組んでおり、学校の先生方には理解が深まってきているように感じられる。一方で、情報を発信する力が弱く、児童館の取り組みが一般にはあまり知られていないのではないかと思う。

提案

- ・児童館が子供の成長に必要な場所であるということを徹底的に打ち出してみてはどうか。
- ・児童館で取り組んでいることを発信、応援していく仕組みや制度作りが必要。
- ・学校が児童館の情報発信をしていけば発信力は相当強化されるのではないか。

3 まとめ

児童館のあり方を整理しつつ、児童館・学童クラブ・放課後子ども教室全ての水準を合わせていく、連携を強化することによって、多様な形で子どもの居場所づくりに取り組んでいくことが重要である。学童の量的整備、専門ワーカーの設置などを盛り込んでいけないだろうか。

児童館は乳幼児の頃からの情報を持つことができるため、何かあった時の子どもの逃げ場にもなり得ると思う。

令和元年7月17日 基本目標④WG議事要旨

1 WG参加者

賀川委員、甚野委員、小川委員、佐藤（達）委員、横井委員、河原委員、中村委員

2 課題整理

(1) 全体的な課題

共働き家庭の増加、日常生活における仕事への比重の高まり、介護など家庭が抱える問題の複雑化等から、お金で解決できることはお金で解決しようとするなど、「お互い様」の意識を持つ余裕がなくなっている。

その一方で、少しの後押しや具体的な活動イメージの把握が出来ることで、空けられる時間を使い、地域活動に参加したいと思っている住民も一定数いる印象もあり、対応によっては、地域の子育て協力者を増やせる可能性がある。

(2) 個別課題

①課題 コーディネーター（核となる人材）の確保・育成

現状 地域活動が活発なところとそうでないところの違いは、活動の核になるコーディネーターを確保できているかどうかというところにある。核となる人の横のつながりから担い手が確保され、活動が活発になっていく。一方で、確保できている地域においても、その人がいなくなった後どのように引き継いでいけるかという課題もある。

提案

- ・コーディネーターが確立するまで、行政の関わり・支援を強化できないか。
- ・区からの委嘱行為や報酬の支払いなどのしくみをつくることはできないか。

②課題 保護者（当事者）の地域活動への参加意欲喚起

現状 地域活動に協力的な人とそうでない人がおり、町会や青少年委員など、なんらかの横のつながりのある方をお願いすることが多い。助けたい人と助けられたい人の数のバランスが取れていないと感じられる。

提案

- ・予約制ではなく自由に参加できる遊びの場があることでつながりが広がっていく。様々な施設を開放するだけでもつながりを増やしていけるのではないか。
- ・先輩保護者がゆとりを与えてくれれば「お互い様」の思いが生まれるのでは。
- ・参加を強制するのはよくないが、つながりがないことで苦労している人もいる。面倒だと感じつつも参加したくなるような場があれば良いと思う。
- ・助けられたい側にも助ける側を担ってもらえるような案内や場があれば良い。

③課題 幼少期からの意識涵養

現状 墨田区は地域から出て行っても、いつか戻ってきたいと思っている人が多いように思う。部活動などでOB・OGが積極的に支援してくれている地域もある。

提案

- ・幼少期から色々な活動を通じて、人の幸せにつながるという経験を重ねていくことが必要と考えるため、小さな子どもの活動の場を、幼稚園、保育園を通じて行政が創っていけると良い。

④課題 担ってほしいこと、やってほしいことの明確化

現状 何をやらされるか、なんでも押し付けられてしまうのではないかという恐れから手を挙げない人もいる。また、短い空き時間を活用して何かをやりたいと思う人がいても、どのようなことをやれるのか、やってほしいのかが分からず手伝えないということもあると思われる。

提案

- ・地域人材にやってほしいことの見える化が必要。地域人材のお仕事の「掲示板」のようなものがあれば良いと思う。
- ・子育て支援に関わることがらを手伝ってみたい、手伝っても良いと感じている人からの相談に応じて、案内、フォロー、働きかけをしていく窓口が地域に必要なのではないか。

⑤課題 安全対策における地域人材の活用

現状 幼稚園・保育園等では様々な戸外活動を行っており、施設職員を中心に、登降園の際には保護者などの力も借りて安全対策に取り組んでいる。しかし、子どもが巻き込まれる事故が全国各地で発生するなど、今まで以上に安全対策を求められる状況になってきている。

提案

- ・散歩などの戸外活動の際に、地域人材と連携して安全管理を強化できるしくみをつくることはできないか。

3 重点事業

全体的に事業が分割され過ぎているように感じるので、全体的な言葉の整理が必要。

基本目標④(1)地域の子育て力の育成と協働

現計画の重点事業は維持。ただし、143「学校における地域人材の活用」となっているが、学校以外の場における地域人材の活用も重要である。

153「地域の子育て支援・青少年育成団体の連携」、155「町会、自治会・NPO・ボランティア活動等地域活動の支援」は言葉を整理して統合したうえで、④(3)に移動させる方が自然ではないか。

基本目標④(2)企業等の子育て力と協働

キャリア学習が大切なことは分かるので悩ましいところだが、160「中学生の職業体験・保育体験学習の充実や小学生の幼児との交流」の、保育体験学習が非常に重要だと思う。焦点化を図るため、159は重要事業から外し、160のみとするのが良いのではないか。

基本目標④(3)個々のニーズに即した子育て支援ネットワークの構築

現計画の重要事業は維持。162「子育てサポーターの育成・活用」だが、サポーターだけでなくコーディネーターの育成も重要だと思う。

現計画164と165はどちらも「利用者支援事業」であるため、整理して統合した方が分かりやすい。

基本目標④(4)子どもと親が安心して暮らせる環境の整備

現計画168「安全・安心メール」は既にシステムが出来上がっているため、重点事業にあえて置かなくても良いのではないかと。167「地域防犯対策」の重点事業は維持。

4 まとめ

地域の子育て力については、【担い手の不足】が最大の課題である。人を集めるためのしくみを作ることができれば、子育てに先進的な自治体になることができるのではないかと。